電子情報通信学会ワードテンプレート (タイトル)

－技術研究報告形式 (サブタイトル)－

電子 花子† 情報 太郎‡ 通信 次郎‡

†第一大学工学部 〒105-0123 東京都港区山田1-2-3
‡大阪株式会社開発部 〒565-0456 大阪府吹田市河田4-5-6

E-mail: †hanako@denshi.ac.jp, ‡{taro, jiro}@jouhou.co.jp

**あらまし** Microsoft Wordによる電子情報通信学会技術研究報告形式のテンプレートファイルです．

**キーワード** Windows，Word，信学技報，テンプレート

IEICE Word Template (Title)

－The Format of Technical Report (Subtitle)－

Hanako DENSHI† Taro JOUHO‡ and Jiro TSUSHIN‡

†Faculty of Engineering, First University 1-2-3 Yamada, Minato-ku, Tokyo, 105-0123 Japan
‡R&D Division, Osaka Corporation 4-5-6 Kawada, Suita-shi, Osaka, 565-0456 Japan

E-mail: †hanako@denshi.ac.jp, ‡{taro, jiro}@jouhou.co.jp

**Abstract** IEICE (The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers) provides a word template file for the Technical Report of IEICE.

**Keywords** Windows，Word，Technical Report，Template

1. 原稿用紙
	1. タイトルその他(1ページ目上部)に関して

技術研究報告の1ページ目上部には，タイトル，発表者氏名，所属，住所，メールアドレス，キーワードの和文と英文及びあらまし(和文300字程度，英文100語程度)を，それぞれ記述してください（日本語で執筆される場合、英語表記は任意です）．

各研究会より[特別招待講演]と指示されている方は[特別招待講演]，[特別講演]の方は[特別講演] ， [招待講演] の方は[招待講演] ， [基調講演] の方は[基調講演] と タイトルの前にお入れください．

* 1. 本文に関して

本文は1.1の「タイトルその他」に続けて記述してください．記述に関しては，このテンプレートファイルを用いて作成するか，あるいは，任意のA4判の用紙を利用することができます．その場合には，執筆要項を参照してください．

1. 原稿提出枚数

執筆依頼のメールに指定の提出枚数が記載してあります．図・表，写真を含め依頼枚数以内で作成してください．原稿を作成する前に，手持ちの原稿量と依頼枚数とを十分勘定してください．

1. 原稿の書き方

文字の大きさ：本文は9ポイント活字を標準とし，字間および行間は適宜調整してください．なお，標題は拡大文字とするのが望ましい．

1. 図と表，写真

図面，写真，表の文字や数字は本文と同じ大きさとしてください．

1. ヘッダー、フッター

原稿集約後、まとめて編集しますのでそのままで結構です．

1. 著作権について

本会技術研究報告に掲載されるすべての原稿の著作権及び電子的形態による利用も含めた包括的な著作権は本会に帰属します．なお，著者（「著作権規程」上の著作者）自身が自著の記事を複製，翻訳，翻案等の形で利用することは差し支えありません．ただし，「権利表示」と「出所の明示」は必ず明記してください．

他の著作物から引用する場合には，次のことに十分留意してください．

・引用する文献の著作権に十分注意すること．

・図面・表・写真を他の図書，雑誌などから引用する場合には，事前にその著者及び出版社の了承を得ること．

本会著作権規程をご確認・ご了承の上，原稿アップロードの際に，著作権譲渡欄にチェックとお名前をご記入頂きますようお願いいたします．

本会著作権規程

https://www.ieice.org/jpn\_r/copyright/index.html

1. 発行日について

研究会開催初日の1週間前（7日前）を発行日（公知日）としております．

開催日ではございませんので，ご留意ください．

上記発行日を踏まえて，投稿する方は投稿論文の特許，その他の権利を早めに申請する等，権利保護に充分注意してください．

1. 問合先

一般社団法人電子情報通信学会

会員サービス部　研究会課

　〒105-0011　東京都港区芝公園3丁目5番8号

機械振興会館内

TEL：(03) 3433-6691(ﾀﾞｲｱﾙ2)

FAX：(03) 3433-6659

E-mail：ken@ieice.org

**文 献**

1. (雑誌の場合) 著者名，“標題，”雑誌名，巻，号，pp.を付けて始め－終りのページ，月(英語)年.
2. (雑誌例1) 山上一郎，山下二郎，“パラメトリック増幅器，”信学論(B), vol.J62-B, no.1, pp.20-27, Jan.1979.
3. (雑誌例2) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain, diffusion of impurities during epitaxy, Proc. IEEE, vol.52, no.3, pp.284-290, March 1964.
4. (著書，編書の場合) 著者名，書名，編者名，発行所，発行都市名，発行年．
5. (著書，編書例1) 山田太郎，移動通信，木村次郎（編），pp.21-41,（社）電子情報通信学会，東京，1989．
6. (著書，編書例2) H. Tong, Nonlinear Time Series: A Dynamical System Approach, J. B. Elsner, ed., Oxford University Press, Oxford, 1990.
7. (著書の一部を引用する場合) 著者名，“標題，”書名，編者名，章番号またはpp.を付けて始め－終りのページ，発行所，発行都市名，発行年．
8. (著書の一部引用例1) 山田太郎，“周波数の有効利用，”移動通信，木村次郎（編），pp.21-41，（社）電子情報通信学会，1989．
9. (著書の一部引用例2) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratlliff, Inhibitoryinteraction in the retina, in Handbook of Sensory Physiology, ed. M. G. F. Fuortes, pp.381-390, Springer-Verlag, Berlin.
10. (国際会議の場合) 著者名，“表題，”会議名，no.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，都市名，国名，月（英語）年．
11. (国際会議例) Y. Yamamoto, S. Machida, and K. Igeta, “Micro-cavity semiconductors with enhanced spontaneous emission, ” Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun., no.MoF4.6, pp.3-13, Amsterdam, The Netherlands, Sept.1990.
12. (国内大会，研究会論文集の場合) 著者名，“標題，”学会論文集名，分冊または号，no.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，月（英語）年．
13. (国内大会，研究会論文集例) 川上三郎，川口四郎，“紫外域半導体レーザ，”1995信学全大，分冊2,no.SB2-1,pp.20-21,Sept.1995.